

# 浜松市 産業

浜松市は1日 融合し、より魅 融るために、行政 に対する思い

平成27年(2015年)7月1日(水曜日)

## 次世代につながるものづくり

### 原田精機 自社開発の人工衛星 打ち上げを目指す



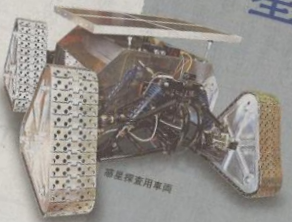
製作の人工衛星。実用化に向けさらなる小型化を目指す

#### 生活に密接な宇宙

2年後には自社開発の人工衛星を打ち上げ、宇宙を気軽に楽しむのが目標だ。希望の地味な研究開発が図り成る。衛星分野、精密加工、宇宙は既に活用されている。衛星放送、電話やインターネット、GPS(衛星利用測位システム)の普及の魚探探知も完全な活物ではない。宇宙開発は夢



宇宙開発を担う製造ライン



人工衛星に搭載される撮影システム



原田精機  
原田浩利 社長(52)

自動車製造機械の設計・製造会社を経て2007年、原田精機工業が航空宇宙防衛産業部門を分社化し、設立した原田精機の社長に就任した。浜松市出身。大同工業大卒。

原田精機は人工衛星関連のシステム全体で技術力を発揮している。地上を撮影するカメラ、衛星からのデータ送信、データを受信する地上局、そのデータを受信する機器まで一社で完結できる。GPS(衛星利用測位システム)の普及の魚探探知も完全な活物ではない。宇宙開発は夢

#### 完璧さが必要な部品

これまで大手衛星メーカーから部品製造を受注するのではなく、技術力を高めてきた。人工衛星に用いられる部品は、飛行中に故障しない。絶対的な信頼性が必要で、国内企業での開発が停滞している。原田精機は、国内企業での開発が停滞している。原田精機は、国内企業での開発が停滞している。

り、人工衛星の発電所になる。星は動かないので、大切な仕事。原田精機はパネルをばらばらに、高精度製の製作が可能だ。近年打ち上げられている人工衛星には、原田精機製の部品が使われている。人工衛星の難しさは、宇宙で故障したら直らない。手回しで調整し、検査、改良を繰り返して、絶対的な信頼性を確保する必要がある。国内企業での開発が停滞している。原田精機は、国内企業での開発が停滞している。

HAMAMATI 10th 浜松市

新「浜松市」 東西の幅...約 南北の幅...約 周囲の長さ...約 標高最高点...

期間 約280

三

